

## PRTEC 2019での海外発表



目で見ると  
海外論文発表

澤田 晋也\*

PRTEC2019 Lahaina, Maui, Hawaii, USA

Key Words : Pulverized coal combustion, Two-color pyrometry, Backlight imaging

<参加会議名> The Second Pacific Rim Thermal Engineering Conference (PRTEC2019)  
<開催場所> アメリカ・ハワイ・マウイ・カフルイ  
<渡航期間> 2019年12月13日～12月18日  
<発表タイトル> Effects of Particle Residence Time and Flame Temperature on Particle Heating Rate of Pulverized Coal in Laminar Counterflow Hydrogen Diffusion Flame

私は2019年12月13日～17日に開催されたPRTEC 2019 (The Second Pacific Rim Thermal Engineering Conference)に参加・口頭発表をしました。機械学会の熱工学部門が韓国機械学会(KSME)および米国熱流体学会(ASTFE)と主催するこの会議は、日米機械学会熱工学合同会議(AJTEC)の後継の国際会議で4年に1回のペースで行われます。「層流対向流水素拡散火炎中での粒子存在時間と火炎温度が微粉炭粒子の昇温速度に与える影響」という題目で、発電などで主に使われている石炭を細かく砕いた微粉炭の基礎的な燃焼特性の内容で発表を行いました。石炭は他の化石燃料に比べて発電量あたりの二酸化炭素排出量が多いことや有害な物質(NO<sub>x</sub>, SO<sub>x</sub>など)を排出するといった問題点があります。今後も利用していくためには高効率で低燃焼排出物な石炭の燃焼技術が必要になってきます。そのため

国内外で研究は行われています。関連する発表がいくつかあり、重要な知見を得ることができました。レセプション、ランチ、バンケットなどでは会議で参加した普段関わることのできない様々な分野の研究者とも交流することができて価値のある時間を過ごすことができました。本会議に参加するにあたってご支援をいただきました生産技術振興協会に感謝を申し上げます。



学会会場 (Hyatt Regency Maui Resort & Spa) の写真



口頭発表の様子



ディナー時の交流



バンケットの様子



\* Shinya SAWADA

1994年3月生まれ  
現在、大阪大学大学院 工学研究科  
機械工学専攻 マイクロ機械科学部門  
燃焼工学領域 修士(工学)  
研究分野/燃焼工学 博士後期課程2年  
TEL: 06-6879-4489  
FAX: 06-6879-4489  
E-mail: ssawada@combu.mech.eng.  
osaka-u.ac.jp